

令和6年8月28日（水）

近畿コンピュータ電子専門学校 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人ヒラタ学園
近畿コンピュータ電子専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人ヒラタ学園 近畿コンピュータ電子専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された「2023年度 学校自己評価報告書」に基づき、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

記

1、学校関係者評価委員

委員氏名	所属	備考
富田 尚典	堺電気工事工業協同組合 副理事	業界団体関係者
仲田 浩和	都築電気株式会社 大阪オフィス 総務人事統括部 シニアマネージャー	業界企業関係者
鬼塚 一樹	株式会社グローランプ 代表取締役	業界企業関係者
楠瀬 修一	株式会社ソフテム 取締役	業界企業関係者 卒業生

2、学内委員（事務局）

平野 考一	近畿コンピュータ電子専門学校 校長
田上 貴之	近畿コンピュータ電子専門学校 プログラマ学科科長
脇坂 慎也	近畿コンピュータ電子専門学校 クリエイタ学科科長
中田 裕一	近畿コンピュータ電子専門学校 電子科 科長
今村 和江	近畿コンピュータ電子専門学校 キャリアサポート課 課長

3、学校関係者評価委員会の実施状況

1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：令和6年8月28日（水）10：00～12：00

場所：近畿コンピュータ電子専門学校（オンライン実施）

2) 議事

- 開会 挨拶
- 学校関係者評価委員自己紹介 学内委員自己紹介
- 学校関係者評価の進め方説明
- 自己評価結果の解説とその評価
 - ①教育重点項目 解説
 - ②教育理念・目標 評価結果の解説
 - ③学校運営 評価結果の解説
 - ④教育活動 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
 - ⑤学修成果 評価結果の解説
 - ⑥学生支援 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
 - ⑦教育環境 評価結果の解説
 - ⑧学生の受け入れ募集 評価結果の解説
 - ⑨財務 評価結果の解説
 - ⑩法令等の遵守 評価結果の解説
 - ⑪社会貢献・地域貢献 評価結果の解説
 - 評価結果の判定（評価）
- 在校生アンケート結果報告
 - プログラマ学科、情報クリエイタ工学科、クリエイタ学科
 - 電子科、電子研究科
- 企業アンケート結果報告
 - キャリアサポート課
- 学校関係者評価の総評と意見交換
- 終了

3) 学校関係者評価委員会議事内容

3.1 教育理念・目標 評価平均 4.0 (適切)

- 教育理念・目標の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.2 学校運営 評価平均 4.0 (適切)

- 学校運営の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.3 教育活動 評価平均 4.0 (適切)

- 教育活動の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.4 学習成果 評価平均 4.0 (適切)

- グループウェアを使用し、直近の卒業生との情報交換を実施している。
- 企業アンケートなどを実施し卒業生の中から代表者を選んで情報を収集把握し、フィードバックを行い次年度の教育活動に練りこんでいる。
- その他、学習成果の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.5 学生支援 評価平均 4.0 (適切)

- 学生相談について、担任や副担任、就職担当などで対応、また企業からの講師の方にもご協力いただいている。
- グループウェアを活用した学生が相談が出来るやすい環境を整えている。
- その他、学生支援の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.6 教育環境 評価平均 4.0 (適切)

- インターシップは、企業ニーズを踏まえた知識や技術の習得とキャリア教育の一環として、教務とキャリアサポートが連携し積極的に計画整備している。
- その他、教育環境の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.7 学生の受入募集

評価平均 4.0 (適切)

- 受入れ募集の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.8 財務

評価平均 4.0 (適切)

- 財務の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.9 法令等の遵守

評価平均 4.0 (適切)

- 自己評価の実施と問題点の改善、評価結果の公開について、自己評価及び評価委員会を開催し指摘を受け改善している。また、自己評価結果もホームページにて公開している為、評価します。
- 法令等の遵守の自己評価について評価委員からの異議はありません。

3.10 社会貢献・地域貢献

評価平均 4.0 (適切)

- 社会貢献・地域貢献の自己評価について評価委員からの異議はありません。

○総合評価（学校評価・改善に対する意見）

- 各学科の報告から、技術や専門知識の授業をしっかりとされているのが伝わってきた。社会に出れば、技術の習得のみではなく、1つのビジネスとして成り立たせるにはどのようにすればよいのかを考えさせられることもあり、そうしたビジネスにつながるための教育や指導などの必要性もあるのではないか。
- 学生アンケート結果にあった「会社の中で偉くなりたい」の割合が低いのは、責任を持ちたくないという意思があると感じられる。「キャリアアップしたいか」「成長したいか」という異なる質問に変えてみてはどうか。
- 授業のことなど、教員に対して、学生から質問しやすいという意見が出るのは御校の良いところである。
- コロナ禍の影響も無くなっており、地域貢献など講座やイベント開催の検討や実施は継続して行ってほしい。
- 昨今、入学する学生への指導の難しさは今後も継続していく問題である。学生のモチベーションを高める教育も大切であるため、学生の内に自身（成功体験）が出来る環境作りを検討してほしい。
- 人口減少による担い手が不足していく状況にある。社会ニーズは増加していくので、継続して高い技術を持つ学生の育成を行ってほしい。

以上